



# Cisco Unified IP Phone のリセットと再起動

- [電話機のリセットと再起動について \(1 ページ\)](#)
- [電話機のリセットと再起動 \(3 ページ\)](#)
- [電話機のリセットおよび再起動に関する機能情報 \(9 ページ\)](#)

## 電話機のリセットと再起動について

### IP Phone のリセットと再起動の違い

Cisco Unified IP Phone は、設定変更後にリブートして変更内容を有効にする必要があります。Cisco Unified CME の電話機の設定は、電話機をリブートまたはリセットしたときにダウンロードされます。Cisco Unified CME システムの単一の電話機をリブートすることも、すべての電話機をリブートすることもできます。[表 1: reset コマンドと restart コマンドの違い \(1 ページ\)](#) に、リブート タイプの違いをまとめます。



(注) 複数の IP Phone をリブートするときに、変更された Cisco Unified CME 設定情報に TFTP 経由で同時にアクセスする電話機の数が多すぎると、競合が発生する可能性があります。

表 1: reset コマンドと restart コマンドの違い

	reset コマンド	restart コマンド
リブートのタイプ	電源オフしてから、電源オンしてリブートすることと同様。	クイック再起動。
電話機の設定	IP Phone の設定をダウンロードします。	IP Phone の設定をダウンロードします。

	reset コマンド	restart コマンド
<b>DHCP および TFTP</b>	更新された設定情報を取得するため、DHCP および TFTP サーバに接続します。  (注) このコマンドは Cisco CME 3.4 の SIP 電話機に導入されました。	電話機は更新された設定情報を取得するため TFTP サーバに接続し、再登録は DHCP サーバに接続しないで行います。  (注) このコマンドは Cisco Unified CME 4.1 の SIP 電話機に導入されました。
<b>処理時間</b>	複数の電話機を更新するには時間がかかります。	複数の電話機を高速処理します。
<b>必要な場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日付と時刻の設定</li> <li>• ネットワーク ロケール</li> <li>• 電話機のファームウェア</li> <li>• 送信元アドレス</li> <li>• TFTP パス</li> <li>• URL パラメータ</li> <li>• ユーザ ロケール</li> <li>• ボイスメールのアクセス番号</li> </ul> <p>次の更新時に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディレクトリ番号</li> <li>• 電話機のボタン</li> <li>• スピードダイヤル番号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディレクトリ番号</li> <li>• 電話機のボタン</li> <li>• スピードダイヤル番号</li> </ul>

## Cisco Unified Cisco Mobility Express TAPI 拡張機能

Cisco Unified CME 7.0(1) よりも前は、Microsoft Windows Workstation と、同期されていない SCCP 電話機との間のセッションをクリアする唯一の方法は、ルータをリブートすることでした。Cisco Unified CME 7.0(1) 以降のバージョンでは、Cisco IOS ソフトウェア コマンドを使用することによって、フリーズした状態または同期されていない Telephony Application Programming Interface (TAPI) セッションをクリアできます。構成情報については、[TAPI アプリケーション および SCCP 電話機間のセッションのリセット \(5 ページ\)](#) を参照してください。

この拡張機能は ephone-TAPI 登録エラー状態も自動的に処理します。この新機能に必要な追加設定はありません。

# 電話機のリセットと再起動



- (注) 電話機がまだ接続されていない場合、電話機のリセットまたは再起動は必要ありません。代わりに、IP Phone をネットワークに接続し、電話機をブートして必要な構成ファイルをダウンロードします。

## SCCP 電話機での reset コマンドの使用

更新情報のための DHCP サーバへの接続など、1 台以上の SCCP 電話機のリブートおよび再登録を行うには、次の手順を実行します。

### 始める前に

- リブートする電話機が Cisco Unified CME ルータに接続されていること。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service** または **ephone ephone-tag**
4. **reset {all [time-interval] | cancel | mac-address mac-address | sequence-all}** または **reset**
5. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>telephony-service</b> または <b>ephone ephone-tag</b> 例： Router(config)# telephony-service  または Router(config)# ephone 1	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。  または ephone コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>reset {all [time-interval]   cancel   mac-address mac-address   sequence-all}</b> または <b>reset</b>  例： <pre>Router(config-telephony)# reset all</pre> または <pre>Router(config-ephone)# reset</pre>	最新の設定情報を取得するための DHCP および TFTP サーバへの接続を含めて、指定された電話機または SCCP を実行中のすべての電話機の完全なリブートを実行します。  または 設定される個々の SCCP 電話機の完全なリブートを実行します。
ステップ 5	<b>end</b>  例： <pre>Router(config-telephony)# end</pre> または <pre>Router(config-ephone)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

## SCCP 電話機での restart コマンドの使用

1 台以上の SCCP 電話機の高速リブートおよび再登録を行うには、次の手順を実行します。

始める前に

- リブートする電話機が Cisco Unified CME ルータに接続されていること。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service** または **ephone ephone-tag**
4. **restart {all [time-interval] | mac-address}** または **restart**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例： <pre>Router&gt; enable</pre>	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： <pre>Router# configure terminal</pre>	グローバル構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<b>telephony-service</b> または <b>ephone <i>ephone-tag</i></b> 例 : <pre>Router(config)# telephony-service or Router(config)# ephone 1</pre>	<b>telephony-service</b> コンフィギュレーション モードを開始します。 または <b>ephone</b> コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>restart {all [<i>time-interval</i>]   <i>mac-address</i>}</b> または <b>restart</b> 例 : <pre>Router(config-telephony)# restart all</pre> または <pre>Router(config-ephone)# restart</pre>	この Cisco Unified CME ルータに関連付けられた SCCP を実行中のすべての電話機、または指定された電話機の高速度リブートを実行します。DHCP サーバに接続して、最新情報を取得することは行われません。 または 設定される個々の SCCP 電話機の高速度リブートを実行します。
ステップ 5	<b>end</b> 例 : <pre>Router(config-ephone)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

## TAPI アプリケーションおよび SCCP 電話機間のセッションのリセット

フリーズした状態または同期されていない TAPI セッションをクリアするには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco Unified CME 7.0(1) 以降のバージョン

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-tag***
4. **reset tapi**
5. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例 :	特権 EXEC モードを有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router> enable	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。</li> </ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>ephone phone-tag</b> 例： Router(config)# ephone 36	ephone コンフィギュレーションモードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>phone-tag</i>— 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号です。</li> </ul>
ステップ 4	<b>reset tapi</b> 例： Router(config-ephone)# reset tapi	Telephony Application Programmer's Interface (TAPI) アプリケーションと SCCP 電話機との間の接続をリセットします。
ステップ 5	<b>end</b> 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SIP 電話機での reset コマンドの使用

更新情報のための DHCP サーバへの接続など、1 台以上の SIP 電話機のリブートおよび再登録を行うには、次の手順を実行します。

### 始める前に

- Cisco Unified CME 3.4 以降。
- **mode** Cisco Mobility Express コマンドが、Cisco Unified Cisco Mobility Express で有効化されている必要があります。
- リブートする電話機が Cisco Unified CME ルータに接続されていること。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global** または **voice register pool pool-tag**
4. **reset**
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register global</b> または <b>voice register pool pool-tag</b> 例： Router(config)# voice register global  または Router(config)# voice register pool 1	音声レジスタ グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。  または 音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します
ステップ 4	<b>reset</b> 例： Router(config-register-global)# reset  または Router(config-register-pool)# reset	最新の設定情報を取得するための DHCP および TFTP サーバへの接続を含めて、このルータに接続された SIP を実行中のすべての電話機の完全なリブートを実行します。  または 設定される個々の SIP 電話機の完全なリブートを実行します。
ステップ 5	<b>end</b> 例： Router(config-register-global)# end  または Router(config-register-pool)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SIP 電話機での restart コマンドの使用

1 台以上の SIP 電話機の高速リブートおよび再登録を行うには、次の手順を実行します。

## 始める前に

- Cisco Unified CME 4.1 以降。

- **mode Cisco Mobility Express** コマンドが、Cisco Unified Cisco Mobility Express で有効化されている必要があります。
- リブートする電話機が Cisco Unified CME ルータに接続されていること。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global** または **voice register pool pool-tag**
4. **restart**
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register global</b> または <b>voice register pool pool-tag</b> 例： Router(config)# voice register global  または Router(config)# voice register pool 1	音声登録グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。  または 音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。
ステップ 4	<b>restart</b> 例： Router(config-register-global)# restart  または Router(config-register-pool)# restart	この Cisco Unified CME ルータに関連付けられたすべての SIP 電話機の高速度リブートを実行します。DHCP サーバに接続して、最新情報を取得することはありません。  または 設定される個々の SIP 電話機の高速度リブートを実行します。
ステップ 5	<b>end</b> 例： Router(config-register-global)# end	コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。



コマンドまたはアクション	目的
または Router(config-register-pool)# end	

## 基本通話の確認

Cisco Unified CME の Cisco IP Phone が音声ポート経由でコールの発着信が可能であることを確認するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 ローカル電話の動作をテストします。Cisco Unified CME ルータ上の電話機間でコールを発信します。
- ステップ2 Cisco Unified Cisco Mobility Express からローカルの発信先エリアの番号に通話を発信します。
- ステップ3 このCisco Unified Cisco Mobility Express システム外の電話機から Cisco Unified Cisco Mobility Express の電話機に通話を発信します。

## 電話機のリセットおよび再起動に関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: 電話機のリセットおよび再起動に関する機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
Cisco Unified Cisco Mobility Express TAPI 拡張機能	7.0(1)	Cisco IOS コマンドを使用することで、フリーズ状態または同期されていない TAPI セッションの関連付けを解除して再確立します。この拡張機能は ephone-TAPI 登録エラー状態も自動的に処理します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。